

新宮山彦ぐるーぷ第2212回

持経宿、平治宿の迎春準備作業

◇実施日 12月11日(日) 晴

◇参加者

持経宿班；沖崎吉信、児嶋道夫、生熊敏男、大江加予子・徳子、平治宿班；中前偉、内野井慎搾、濱野兼吉、高階鈴子・美根子、梶野照雄、志岐敬、山口康宏

年末恒例の迎春準備作業が今年もやってきた。第一弾は持経宿と平治宿の迎春準備だ。集合場所のスポーツ公園駐車場に、朝8時半の予定時刻を15分ほど過ぎて新宮組が到着した。児嶋さんのトラックに薪材や荷物を積みこんでいて、少々遅れたそうだ。

沖崎さんから本日のスケジュールなどの説明があり、沖崎、大江、児嶋、梶野の4車で持経宿に向かう。池郷林道の工事は全て終了していて、落石は無く路面も均されて、50分弱で持経宿に到着した。薪材をトイレ裏に運び、しめ縄や御供などを玄関前のテーブルに集める。持経宿班と平治宿班に分かれて行動開始。

平治宿班

ハシゴを千年桧まで運ぶ。最初は3人で運んでいたが、内野井さんが一人で千年桧まで担いでいった。

千年桧でハシゴを立てて、後続の持経宿班にしめ縄交換作業を引き継いだ。



ハシゴを運ぶ



平治宿に到着



マキを補充

中又尾根分岐で休憩し、一時間で平治宿に到着。小屋の清掃やマキ造りなどを6名にお願いして梶野、濱野の2名で水場に向かった。



水場にホース取付

雨水槽を空に

水場の流れは殆ど無く、貯水槽から滴り落ちる程度になっていた。

濱野さんが底浚えすると、ミミズが多数見つかった。

用意してきたホースを取り付ける。ちょうど水平になった個所があったので岩に2ヶ所穴を開けてアンカーボルトを打ち込み、アルミアングルのホース給水部を固定した。ホースの先端を固定するためにもう一ヶ所に穴を開けるが、全然ドリルが入っていかなくなった。ドリルの刃先が摩耗して丸くなっていった。10mm位の深さの穴にアンカーボルトを無理やり打ち込んで固定したが、いつ外れても不思議ではない。次回、穴を開け直して固定しようと思う。

小屋に戻るとお昼を少し過ぎていた。マキ造りは続いていて、空っぽだったマキ棚は8割程度埋まっていた。



雨水槽を空に

お正月の飾り

外は寒いので小屋に入って昼食を摂る。中前さんがストーブに火を入れてくれたおかげで、小屋内は暖かくなってきた。昼食後、戸締りを確認して持経宿に戻った。

持経宿班

沖崎、生熊、児嶋、大江親子の5名が経宿に残り、千年松と持経宿の迎春準備を担当する。



マキを倉庫に

作業打合せ

しめ縄の交換

先ず、5名で千年松へ向かい、男性陣が千年松の大注連縄の取替を行う。女性陣は祠の清掃と迎春準備を担当する。毎年行っているで、慣れたものだ。20分ほどで完了し持経宿に戻る。

持経宿でも大江さん二人にはお堂を担当していただく。

児嶋さんと生熊さんはストーブ煙突の煤掃除から開始。沖崎は持ってきたマキの整理・収納や小屋内の整理などを行う。午前11時頃に湯川君がお母さんを連れてやってきた。お母さんを乗せてドライブするのが日課になっていて、今日はここまで足を延ばしてきたそうだ。皆の迎春準備作業も気になるし、大峰の空気も吸いたかったらしい。湯川君はお母さんと二人で、大峰や近郊の山々を数多く登ったようで、ここ持経宿から涅槃岳まで往復したこともあるらしい。

大江さんはお堂の作業を終えてトイレの掃除を始めた。間もなく「大変、大変、便槽が一杯になってる」との声が聞こえ、蓋を開けてみるとほぼ満杯で、あと数センチで溢れてしまう状態だった。便槽の汲み出しは午後に行うことにして昼食を摂った。

昼食後、生熊さんはストーブ内の灰を掃除し、児嶋さんはブロワーで周辺の落ち葉を吹き飛ばした。



お正月飾り

湯川君が来宿

午後1時少し前から便槽の汲み出しを行う。この作業は皆さん敬遠されるが、湯川君は全然気にせず抵抗感も無いようだ。生熊さんも加わり二人で350杯汲み出してくれた。いつもは150〜200杯も汲めば終了するのだが、倍近い量を汲み出したことになる。

児嶋さんは三差路上の奥駈道段差にコンクリートブロックを敷いてくる、と一人で出向いて行った。

午後2時に平治宿班が戻り作業終了。コジマカフェ、お堂で勤行の後下山した。

(記：沖崎)



段差にブロック



本日の参加者



お堂で勤行

行動タイム

スポーツ公園駐車場 08:55↓09:39 持経宿 09:50↓10:00 持経千年
年桜 10:10↓10:36 中又尾根分岐↓11:05 平治宿 12:56↓13:14
中又尾根分岐↓13:46 持経千年桜 12:45↓14:00 持経宿 14:32
↓15:20 スポーツ公園駐車場